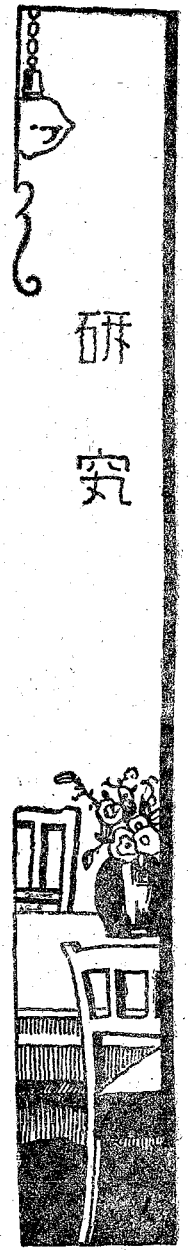


研究

再び共榮圈内の經濟狀況と交通問題（下）

H T 生

濠洲について

這般輝く大戰果を擧げた珊瑚海の戰場は米合衆國と濠洲大陸とを結むべき海上の樞要の位置にあるからハワイ、ミッドウエイ、ウエーキをつらねる中央進攻路は絶たれて、大東亞海の廣袤を悉く旭日の軍艦旗によつて制されて、米國海軍が西太平洋に出擊する路は辛うじて只だ一條を殘した、卽しハワイ諸島から南してサモア、フイージーの諸島を傳ひつゝ、オーストラリヤ島大陸に最後の足場を求めるそれである、然るに、この最後に僅かにあまされたる聯絡路さへ現在に於ては完全に帝國海軍の砲熕の下にあることを、この珊瑚海々戰は事實をもつて立證したのである。これに依つて濠洲は海上に切放されたのである。帝國海軍はさきにソロモン諸島、ビスマルク群島、ニユー・ギニア島の制壓はこれによつて濠洲と一切の西方米英基地との聯絡を遮斷しつゝ北方よりしてこの大陸を壓せんとする姿勢を

成すのであつたが、今亦東方海上を遮斷されて、濠洲はその最後の頼みとする米合衆國との聯絡を全く喪失したのである、故に大東亞海攪亂のための最後の足場たるオーストラリヤの戰略的價値も現在では既にその意義を失はうとしてゐるのである。

曩に東條首相は「最近濠洲の周邊に於て展開されたる、珊瑚海々戰に依て濠洲防衛の海上勢力は潰滅し、今や皇軍の前には濠洲を守るものは何物もない、此際濠洲の指導者に對して國際的情勢を洞察し、其地理的環境を考慮して勇斷速かに其最も重大なる擧措を決せられんことを私は改めて要望する」と云つてゐるが、オーストラリヤの首相カーチンは「この珊瑚海々戰はオーストラリヤの運命を決定した」と述べてゐる。全く世界を震撼する大事件はいまやうやくにしてその全貌を現はし來らんとしつゝある帝國はいま、南にオーストラリア大陸の死命を制し、西に印度半島を洋中に包圍して英帝國の心臟に利刃を擬しつゝあるのである。曩にハワイ海戰、マレー沖海戰、ジャバ沖海戰、スラバヤ沖海戰、バタビヤ沖海戰等々と何れも赫々の勝利、不滅の譽を千古に傳へぬものはないが、殊に珊瑚海々戰の戰略的意義の重大なる點に於て他の有ゆる戰鬪に抽でんとするはこれに依て濠洲は全く死命を制せられたからである。

この濠洲聯邦はニューサウスウエールス、ヴイクトリア、クイーンスランド、南オーストラリヤ、タスマニアの六州とフーザン、テリトリー、聯邦首都の二直轄領から成つて居るので、その面積は二百九十七萬平方哩、マラスカを含まない米國とほぼ等しいのであるが、その他の領域としてニューギニア島の東南部のパプアと新西蘭の眞北のノーフオーク島とを領有して舊獨領であつたニューギニア島東北部をその委任統治領として赤道附近のナウル島を英國、新西蘭と共同委任統治領としてゐる。濠洲は面積に比較して人口は頗る稀薄であるが、その面積は我國內地の約二十倍に相當するのに對して、その人口は千九百三十七年の統計に依ると僅かに六百八十六萬六千人に過ぎず丁度千九百三十七年の統計に依る東京府の人口六百七十六萬九千人と大

差がないのである。これを見ても如何に濠洲は人口稀薄であるかは判明するのであるが、恰も濠洲は千九百一年以來白濠主義を唱へて人口過剰に惱む東洋人を近づけず、その廣大なる土地を專有して所謂白人の樂天地建設につとめて來たのであつた。

濠洲は、その面積に比較してかゝる人口稀薄なる原因は一般には濠洲の國是ともいふべき所謂白濠主義、有色人種の濠洲移住禁止を斷行して大東亞の一角に利己的な彼等のみの樂園建設を企圖して憚らなかつたのにも基因するが、同時に內部に於て廣大なる沙漠を持つてゐる濠洲の地勢をも多少共に影響してゐることは見逃せないのである。而して濠洲の人口は現在ニューサウスウエールス及びヴイクトリアの二州に集中して、この兩州だけで全人口の約六十六%を占めて居り、又各洲に於てもシドニー、メルボルン、ブリスベーン、アデレード、パース、ホバートの六州首都に全人口の四十七%が集中して人口は非常にその首都に偏在してゐる。即ち濠洲を不法占據した英國は內に向つては原住民絕滅に努めて成功し以て濠洲をして本國の過剰人口の調節辨たらしめようとして、濠洲を彼等だけの利己的な天國たらしめんがために分立せる濠洲六植民地を打つて一丸として濠洲聯邦政府を形成すると同時に極端なる移民制限法を作つて有色人種の入間を峻拒する方策に出たのであるが、濠洲が大東亞の一角であることは勿論なるに拘らず英國人どものこのやり方は不法極まる利己主義の權化であることを事實に於て物語つてゐる。いま白濠主義を標榜する濠洲の住民編成を千九百三十三年の國勢狀況の統計に依つて一瞥すると、濠洲は總人口六百六十二萬九千八百三十九人と原住民約五萬二千人を除いて。

白人種	六五七九、九九三	九九・三%
有色人種	二二、七〇八	〇・三%
混血人種	二七、〇六六	〇・四%

となつてゐて、如何に彼等は有色人種の入國禁止を嚴にして白人濠洲を完成したかが窺はれるのである。尙ほ州別濠洲聯邦の面積と人口率を見ると。

「千九百三十七年度土人を除く」

州別	面積「平方哩」	人口
ニューサウスウエールス州	三〇九、四三二	二、七一〇、七三八
ヴイクトリア州	八七、八八四	一、八五九、四八七
クイーンスランド州	六七〇、五〇〇	九九三、四六一
南オーストラリア州	三八〇、〇四〇	五九一、一〇一
西オーストラリア州	九七五、九二〇	四五七、二一一
タスマニア州	二六、二二五	二三八、九九〇
ノーザン・テリトリー	五三、六二〇	五、三五四
聯邦首都領域	九四〇	一〇、二四八
合計	二、九七四、五八一	六、八六六、五八〇

而して濠洲の人口は最近漸く七百萬に達して居ると云はれてゐるが、その構成を見ると、全體の九五%は英國系の人民であつて在留外人は千九百三十三年の國勢調査に依ると、伊太利人一萬七千六百名、獨逸人三千六百名、日本人二千八十名、ロシヤ人二千名、支那人七千八百名となつてゐる、尙ほ土人の數は僅かに五萬五千名である。

地勢は南緯二十二度半の緯線がこの濠洲大陸のほゞ中央を通過してゐるので、その半ばは熱帶に横はり半ばは溫帶に延びてゐる有樣で濠洲に於ける政治經濟の中心をなす、ニューサウスウエールス州及びヴイクトリア州は、南緯二十度以南にあつてほぼ我國の四國、九州に相當するのである。元來濠洲はその發見からして世界に於ては最も新しい大陸であるが、地質學的には最も古い大陸であつて、火山活動は遠い昔に消滅して、その廣大なる地表は幾千萬年といふ長期間に亘る風力、水力の侵蝕作用を蒙つて、高山峻峰は全く其の姿を消して、東海岸を除いて大陸の大部分は海拔六百呎乃至千二百呎の低い高原となつてゐる、しかも大陸の內部は雨量少くために甚だしく乾燥して、北濠洲の如きは十二月から四月には溫度は百度以上を超える有樣である、中央部は茫漠たる沙漠地帶であるが、いくつかの河川は印度洋に向つて流れてゐるが、夏の雨期だけの流れであつて航行用としては何等の價値もなく、現在では濠洲大陸の二三%が沙漠、五三%が牧場地帶、殘餘の二四%が耕地となつてゐる、かやうであるから濠洲の地質構造並に地

形上からは大體西部高原、東部高地、中央低地の三地勢に分つことが出來るのである。

而して濠洲大陸は南北の最長距離は二千哩、東西の最長距離は二千四百哩であるが、海岸線は比較的短かく一萬二千二百十哩である。形狀は蠶豆の形をしてゐるので港灣には惠まれてゐないのであつて、地球と氣候の點からすれば濠洲は北アフリカに類似してゐる、而して濠洲は印度洋、太平洋、南氷洋に圍まれてゐるから地球の果を思はしむる程世界の文明諸國からかけ離れてゐたのであつて、例へばジャワと濠洲との最短距離が一千哩にも及ぶのでこの點は濠洲土人が世界人類中に於ても最もその發達の遲れてゐることでずら立證さるゝのである。併乍ら尤も人口の溢るゝ亞細亞諸國の環視の中に白濠主義を振りかざして廣大なる天地に白人天國を建設することがこれまで出來たのも亦この濠洲が地勢上隔離性を持つてゐたからである。しかし科學の進歩はこの濠洲の隔離性を抹消しつゝあつて濠洲も太平洋の一國として、新なる道を進むの勢ひを示しつゝある。

偖て玆に濠洲の經濟問題とこれに關連する交通問題を觀察する以前に一寸と英國の濠洲侵略を見ると。濠洲大陸は十八世紀に英國の侵略を蒙つてその支配下に置かれたのであるが、元來ヨーロッパ人は早くから北方にヨーロッパ、アジア大陸のある以上は地球の安定を保つために南方にも大陸が存在するのであらうとの推論からしても南方大陸を想像して、これを terra Australis と呼んでゐたのであつた。しかし現實に濠洲が發見され植民化されたのは極めて最近のことであつて、千六百六年に和蘭人がジャワから南方して北濠洲のカーペンタリア灣に至つて濠洲を發見したのである。英國人が始めて濠洲の土を踏んだのはウイリヤム・ダンピアといふ海賊であつたが、千七百六十八年に至つて、時の英國海軍少佐であつたジェームス・クツクは英國天文學會の南洋地方日蝕觀測のためと稱して軍艦エンデウア號を指揮して英本國を出發したが、實はその主要なる目的は天文觀測は第二次目的のものとして未だ發見領有さ

れざる國土が彼によつて發見された時は、これを英國皇帝の名の下に領有すべしといふ重大命令を帶びてゐたのである。而してクツクはタヒチ島の金星軌道の觀測の後ち西航歸途に付いた時、ニュージーランドを發見して、彼は時の英國皇帝ジョーヂ三世の名の下に英國の領有するところと宣言し、ニュージーランドを周航して確認した後ち西航して千七百七十年に濠洲東岸に到達して、こゝに濠洲大陸の完全なる姿が究められたのであつた。更にクツクは北航してボタニー灣に達して原住民の猛然たる反抗にも拘らず北方一帶をニューサウスウエールスと命名して英國の領土となしたのであるが、これが正に英國の濠洲侵略の第一歩であつた。

かくて千七百八十三年に米國が獨立するに及んでヴアージニア洲の流刑植民地を失つた英國政府はこれに代るべき適當の土地を他に求めねばならなかつたが、嘗てクツクが書いた濠洲の地は雜草繁茂して世界に於ける最良の牧場である、加ふるに土壤濃黑にして有ゆる穀物の生產に適する云々とに基いて濠洲を流刑地として囚人による農業植民地たらしむるの政策をとるに至つたのである。而して英國政府は海軍大佐アーサー・フイリツプを初代總督兼軍司令官として新植民地の建設を命じ、こゝに於てフイリツプは千七百八十七年五月に軍艦二隻、運送船六隻、其他總計十一隻の船舶に男囚五百二十名、女囚百九十七名、軍人官吏船員其他二百九十名、合計千餘名に三ケ年分の食糧、穀物、植物、家畜等を乘せて英本國を出帆して約八ケ月を要して翌八十八年の一月にボタニー灣に上陸したのであつた、千八百四十一年フリンダースの提唱に基いて、この大陸全體をオーストラリアと新に名稱を付けたが、濠洲の眞價が次第に歐洲諸國に傳はると十八世紀末から十九世紀の初頭に亙つて佛蘭人等の來航して植民地を開かんとするの形勢が濃厚なるがために、英國政府は急遽各地に植民地を建設して千八百二十七年には東經百二十九度以西の地をもつてその領域として、これに西濠洲と命名し以て全濠洲大陸をニュー・サウス・ウエールスとウエスト・オーストラリア

の二植民地から成る英國領土たることを宣明して、こゝにギリシア的觀念に由來する南方未知の大陸テラ、オーストラリス、インコグニタの迷妄は完全に英國に侵略されて仕舞つたのである、こゝに讀者諸賢の參考のために英國が領有並に植民地開設及び獨立洲となれる年を記すと、

州名	英領有の年	植民地開設の年	獨立州となつた年
ニューサウスウェールス	一七七〇年	一七八八年	一七八六年
タスマニア	一七七〇年	一八〇三年	一八二五年
南オーストラリア	一七七〇年	一八三一年	一八三六年
ヴイクトリア	一七七〇年	一八三四年	一八五一年
クイーンスランド	一七七〇年	一八二四年	一八五九年
西オーストラリア	一八二七年	一八二九年	一八二九年
新西蘭	一八四〇年	一八四一年	一八四一年

である。而し濠洲の移民は千七百八十八年の濠洲創建のときから千八百五十一年の所謂金鑛發見までを第一期と見るべく、金鑛發見から千九百一年の濠洲聯邦の生れるまでを第二期として、第三期はそれ以後現在までとして普通に大別されてゐるが詳細なることはこゝでは省略して置く。

偖てこれから濠洲の經濟資源について觀察すると、濠洲は何といつても農業資源特に羊毛と小麥がこの國の繁榮の基礎をなしてゐる。千七百八十八年にフイリツプがシドニーに上陸した際は馬、牛、豚、兎とともに僅かに二十九頭の羊をつれて來たとのことであるが、現在濠洲の羊頭數は實に一億八百萬頭を持つて世界第一位を占めてゐる。而してその飼育地帶は濠洲の東南部即ちニューサウスウェールス、ヴイクトリア、南オーストラリアが中心である。又濠洲の氣候は小麥の耕作に最も適してゐて、加ふに耕地も非常に豐富であるから良質の小麥を多量に產してこの國の輸出農產物として羊毛と共に濠洲繁榮の基礎をなし來つたのである。鑛產資源としては金、石炭、銀、銅、鐵、錫、亞鉛等が主なるものであるが、濠洲にとつて最も重要なるものは濠洲重工業の基礎としての石炭及び鐵鑛資源である、石炭は濠洲の東海岸シドニーを中心とする地方に產し、ニューサウスウェールス州だけにて濠洲產炭總額の八割以上を占めてゐる。而して石炭埋藏量は黑炭百六十四億噸、褐

炭を含めると五百七十億噸と云はれてゐる、これを現在の消費率から推測すると少くとも今後數千年の消費に堪へるといはれてゐる。併し乍ら鐵鑛は石炭に比較すると、その埋藏量は少なく九億九千噸と推定されてゐるが、現在では南オーストラリア州から產してこれを東海岸の石炭の產地である、ニューサウスウエールス州に送つて製錬をしてゐる。これは鐵鑛山がその附近に炭礦を持つてゐないので、南オーストラリア州から東海岸へ運搬する運賃が高く付くことは濠洲製鐵業者にとつては頗る不利なる條件となつてゐる、又埋藏量約一億噸といはれる六五%の高品位を有する赤鐵鑛の鑛床が西オーストラリヤ州の北西海岸ヤンビー、サウンドのクーラン島に賦存して居ると稱せられてゐる。

茲に濠洲の資源關係と產業部門を見ると濠洲の工業生產は三六・九%を占めてゐるが、全生產の六三%までは農業及び牧畜業を主體とする原始產業であることは判明するのであるが、これを千九百二十八年から千九百三十八年に亙る十年平均の產業各部門の生產額と輸出額との比率を見ると。

	生產額	全生產額中の比率	輸出額	全輸出額中の比率
農業	七八六、四三八	二〇・四七%	二九五、七六七	二四・七一%
牧畜業	八六四、七三四	二二・五一	五九四、六一五	四九・六八
酪農業	四六四、四一一	一二・〇八	一〇八、一九三	九・〇四
鑛業	二〇二、三六七	五・二七	一三四、六三三	一一・二五
林漁業	一〇六、〇七九	二・七六	一二、九四七	一・〇八
計原始產業	二四二、二二九	六三・〇九	一一四六、一五四	九五・七六
工業	一四一、八二五	三六・九一	五〇、七九四	四・二四
總計	三八四、二、四八六	一〇〇・〇〇	一一九六、九四八	一〇〇・〇〇

「輸出額は千濠磅」

更にこれを大別すると牧畜業は嘗てキャプテン・クツクが『濠洲は世界の最良牧場なり』と喝破したる如く千七百八十八年にフイリツプの率ゐる最初の艦隊が到着した時は僅かに馬七頭、牛六頭、羊二十九頭、豚十二頭、山羊數頭に過ぎなかつたのが、牧羊數は千九百三十七年には實に一億千三百三十七萬頭の驚くべき莫大頭數に達してゐる。こ

れに亞ぐ蘇聯の六千六百六十萬頭を引離して正しく世界の第一位を占めてゐる。而して濠洲の羊は四五%まではニューサウス・ウェールズ州にあつて、二〇%がクインスランド州に一六%がビクトリア州にある、これらの羊は千九百三十七年の食糧統計に依ると冷凍羊肉として五百三十三萬磅が輸出されてゐるが、羊毛として輸出される額に比すれば僅少であつて濠洲の羊毛生産は一億二百三十四萬封度である、これは米合衆國の四千五百五十萬封度を斷然引離して實に世界第一位を占めてゐる。其他牧牛數は亦世界第九位にあるが、千九百三十七年の調査に依ると千三百七萬頭で、牛肉が十三億三千六百八十一萬封度の驚くべき數を生産されて、この内七七%は國内市場で消費され殘る二三%が冷凍或は冷藏肉又は罐詰牛肉として輸出されてゐる。酪農業であるバターは濠洲の重要なる生産品でその生産額は丁抹、ニュージーランドに亞ぐ世界三位を持つてゐる、若し夫れ農業に至つては濠洲は牧畜業に亞ぐ重要産業であるが、小麥、玉蜀黍、果實等中に於て小麥は一頭地を抜いてゐる、一體濠洲の耕地面積は全濠の約二%に足らないのであるが小麥生産地帶はニュー・サウス・ウェールズ、ビクトリア、南濠洲に七五%西濠洲に二二%に及んで濠洲農業は人的資源の不足の結果大規模の機械化が行はれてゐるが小麥は相當多量に生産してゐる。

更に濠洲の工業生産と鑛業方面を觀察すると、濠洲の工業は未だ大して發達してゐない狀態にある、即ち濠洲需要の大半を英國工業品の輸入に仰いでゐる、從つて自給自足は出來ない有樣である故に濠洲經濟の特性は牧畜業、農業を根幹とする單一經濟に停止した所謂植民經濟の區域を脱せないのであるから濠洲はその必要とするところの工業製品を得るために多量の生産資源を原料として又は食糧品として輸出しなければならないのである。然るに戰爭狀態と關聯しての立場に立つ濠洲はこの資源の輸出さるゝ關係諸國との貿易關係を基礎として把握するの必要があるのであるがこれはこゝでは省略することとして、兎に角濠洲の工業は他の産業に比して劣つてはゐないが、實際に於て自給

自足は出來ない狀態にある、鑛業に至つては、先づ千九百三十七年の鑛產額統計を見ると。

	千九百三十七年	千九百三十七年迄の總產額
金	一、一九九萬濠磅	六八、五〇〇萬濠磅
銀	一五〇	一六、〇〇〇
銅	一一六	一〇、三〇〇
鐵	二一四	二、七〇〇
錫	八六	五、〇〇〇
タングステン	一九	二〇〇
亞鉛	一七八	二、九〇〇
石炭	七三三	二七、七〇〇
其他鑛物	五四八	二、二〇〇
計	三、二四三	一三五、五〇〇

かやうに鑛產統計が示す如く濠洲はその鑛業中に於て金は樞要の地位を占めて例ひ昔日の面影がないにしても今尙その產額は世界の第五位を占めてゐる。又亞鉛鑛はその總產額に於て世界第四位であるが、前記したやうに鐵鑛は全濠に亙つて全體に廣く分布し亦石炭も全濠に廣く分布されてゐる、併乍ら石炭に比較して鐵鑛の埋藏量は僅少なるが故に將來濠洲自體の鐵工業の發展を考慮するときは約六十年後には濠洲は鐵鑛の輸入國たらざるを得ないとの地質學者の報告に基いて目下鐵鑛資源の調査が進められつゝあるのでこの結果は果して濠洲の鐵鑛埋藏量に或る程度確實なる示唆を與へるであらう。

序いでに濠洲の貿易狀況を觀察すると主要輸出品は羊毛を第一として小麥及び小麥粉、金、バター、肉、皮革等の順序であるが、主要輸入品は木綿、麻、絹、人絹等の各種織物、自動車車體及同部分品、石油、藥品、化學製品、鉛及銅、電氣機械及器具、茶、印刷用紙、動力機械、文房具及用紙、手提鞄類、衣類、各種絲、絨毛等である。而して近年羊毛は總輸出價額の三五％乃至四〇％を占めて、これに小麥及び小麥粉を合せて五〇％以上に達してゐる有樣である。特に羊毛が輸出額中の壓倒的優位を占めてゐることは濠洲の對外經濟關係を理解する上に於ては勿論濠洲國內の繁榮の週期的變動を理解するにも極めて重要である、輸

入貿易に付て見ると、一商品が壓倒的の地位を占めてゐるものはないが、織物が總輸入額の約一二%を占めてゐる、而して千九百三十八年度から同九年度の十二億二千五百四十三萬餘濠洲磅の濠洲輸出額の内六九%の過半の輸出が英帝國内に於て行はれてゐるが、この割合は勿論年によつて多少の變化があるが大勢に於て現在まで繼續してゐる狀態である、亦輸入額では五九・八七%が英國内に於て行はれてゐる、故に英本國は濠洲の輸出入共に最大であつて、其他の諸外國をもつてしても代替され得ない重要なる顧客である、こゝに濠洲は貿易方面から見ても英本國に緊縛されてゐたのである、かゝる貿易の偏倚性は濠洲の經濟的發展と共に自然的に醸成された不可避の現象でもあるが、これは濠洲の經濟的發展は主として英の資本と英人の移民に依つて行はれたのであるから、濠洲の輸出貿易は英國資本に對する利拂と、英國から輸入する物資に對する支拂と更に英濠洲間の貿易に必要なる運送費に充てられるために發達したといふても不可はないのである。

濠洲は千九百三十九年の九月に祖國英國の一翼として對獨宣戰に參加したのであるが、爾來濠洲は着々と經濟戰の準備を整へる一面に於て英國に對して兵站部たるの役目を勉むべく空軍の充實、軍需品の供給等を計つて他方自國の國防を整備するに寧日なき狀態であつた。かくして戰時經濟の必要に迫られて、統制經濟を强化するに至り相次いで多數の統制法規を發布したのである、物資統制は羊毛、小麥、酪農、肉類、銅、亞鉛、鉛等の對英賣却に關して、これ等重要物資の輸出禁止又は國家による徴發、買上げ等を行ひ、他面政府當局に廣汎なる權限を賦與して生産の指導指揮をなさしめて軍需註文の優先制度等を確立したのであつた。かくて羊毛等は英國以外には英國の指定に依る外輸出禁止となり其他資金統制についても輸入爲替、送金爲替有價證券等に對する管理法等が制定され又貿易統制も對敵通商法等に依つて苟も敵國を利するの惧れある一切の通商行爲に禁止を加へたのである。

先づ大略濠洲の産業經濟は以上の如くであるが、これに

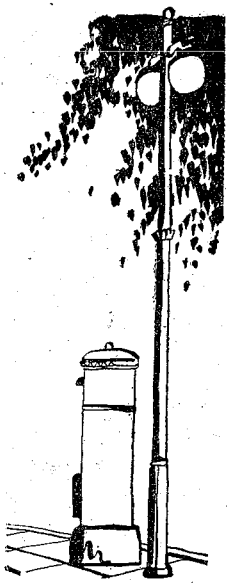
至大なる關係を有する交通狀態はどうであるかと見れば、抑々往昔では濠洲といふところは地球の果にでも行くかのやうに思はれたところであつて、現に千七百八十八年フィリップの率ゆる最初の植民艦隊は南英蘭のワイト島沖を出帆してボクニー灣に到着するまでは約八ケ月の永きを要したのであつた。然るに千九百三十五年にスコットとブラックは英京ロンドンから今度帝國海軍部隊が特殊潛航艇を以て强襲その港内に突入して敵艦を擊沈してゐるシドニー港まで僅かに七十時間で飛んでゐる程であるから、科學の進歩は距離を短縮さすのであるが、濠洲内の交通狀態は先づ鐵道を見るとその延長は約二萬七千哩である、そのうち八百五十哩は私線であり、其他は全部公有鐵道である。聯邦が成立するまでは現在の各州がそれぞれ州有の鐵道を持つてゐたのであるが、現今でも西濠洲のカルグーリーから南濠洲のポート・アウグスタに至る所謂濠洲横斷鐵道と北濠洲及び中濠洲を走る鐵道が聯邦の經營であるが、其他の鐵道は大部分は各州政府の管理下に置かれてゐる、全體濠洲に始めて鐵道の出來たのは南オーストラリヤであつて、これが千八百五十四年に始めて運輸されてゐるが、この鐵道はマレー河畔のグールワからポート・エリオットまでであるが、最初は馬が機關車の役目を果してゐたのである。眞の鐵道が敷設されたのは千八百五十年の五月に工事にとりかゝつて同五十五年の八月に出來上つたシドニーからパラマツタ間の十三哩である、而して濠洲の鐵道は地圖を見ても判明するやうに大部分人口の密集してゐる東部及南部海岸地帶に發達してゐる南オーストラリアは奥地へ走る一千哩の線を唯一つ持つてゐるが、濠洲鐵道に投資された資本額は約三億六千萬磅となつてゐる、濠洲鐵道のまた彼の經濟恐慌時代には非常なる打擊を受けたが最近の數字に依ると投下資本の三・二五%乃至三・五〇%の利潤をあげてゐる。

全體濠洲の鐵道は各植民地が夫々勝手に敷設したからゲーヂが頗る不統一亂脈である、從つて州から州へと旅行するにはいち〳〵鐵道を乘替へねばならない不便極まるので

あつて、又軌道が異つてゐると共に車輛も夫々異つてゐる故に各州の首都間だけにても軌道を統一連絡したい方針であるが、現在までこれが實現は出來ず只たシドニーとブリスベーン兩市間のみ實現を見たのである、而して濠洲鐵道の役割は彼のカナダ太平洋鐵道の如く濠洲の鐵道も開拓者としての役割を屢々演じたのである、即ち先づ輕便鐵道が人間を開拓地に導きてその地方が十分開拓されたれば標準ゲーヂに取換へられたのである。現にニューサウスウエールス及びクイーンスランドの廣大なる未開地はかくの如くにして開發されて、聯邦政府は千九百十七年に開通した南濠洲のポート・アウグスタ及びポート・ピリーから千百哩の大陸横斷鐵道を建設して、カルグーリーで西オーストラリア線に連絡させたが、この横斷鐵道は八百哩、一人の白人種も棲まない地方を通過するのである。この異常なる鐵道は四呎・八五吋のゲーヂが使用されてゐる、この大陸の東西を結び付ける鐵道は三百三十哩といふものは叢林を通過するだけにてカーヴ一つもなく又一橋もなく木と名づくべきものもなく、只だ見渡す限り短い叢林を眞直に走つてゐる、濠洲内に於て一番長い鐵道旅行はクイーンスランドのマウント・イザから西濠洲のヴィルナに至る五千六百五十哩の鐵道であるが、この鐵道に依つて牛羊等の家畜がクイーンスランドから南濠洲へ千哩乃至五百哩の距離を輸送されてゐる有樣である。

飜て濠洲の道路關係を見ると、濠洲の道路は固い石材が橋梁及び暗渠等に使用されて今もなほ完全にその機能を果して道路の建設は立派なものと云へるのである、一體濠洲に於ては英國も同樣に道路建設は鐵道擴張時代にやゝ閑却せられてゐたのであるが、自動車の續々と輸入されて以來道路問題は關心の的となつて來たのである。濠洲の道路全體の責任者は州政府が持つてゐるが、實際の管理者は地方當局に委任されてゐる、併乍ら各州の首都間に自動車用の新國道が建設されるやうになつてからは、州政府がこれが監督維持の任に直接當ることとなり、かくて多數の新幹線道路が建設されたのである。勿論濠洲はあのやうなる廣大

なる大陸たるが故に從つて道路建設資材は區々であり、優秀なる國道は砂利を粉碎したる岩石をタール若くは瀝青にて敷きつめてゐる、人口稀薄の地方には大規模の道路建設は不可能でもあり又その必要をも認めざるためにさしたる道路は建設してないが、雨期の短い西濠洲ではその土地は道路建設に適してゐるから相當に見るべきものがある。聯邦内に於てタスマニアの道路は最良の道路であると云はれてゐる、而して濠洲の道路は鐵道と同樣に觀光用に利用されてゐるが、殊にシドニーからブルー・マウンテンを超えて、バサーストに通ずる道路は濠洲の道路中で最も古い歴史を有する道路であるが、この道路の沿線は世界何れの地に比しても餘り見劣りのしない景觀に惠まれてゐる。即ち全濠の景色から熱帶のクイーンスランドから山間のタスマニア・ニューサウスウエールスの羊齒に包まれた谿谷から南オーストラリアの湖水、西部のジャラーゴム樹林などに至るまで進歩したる道路政策によつて觀光の對象となつてゐる、大體濠洲の陸上交通はかやうの狀況にあるが大局的に觀察するとこの大陸の廣大なる面積に比較して鐵道も道路もまだ〳〵幼稚なものである、而して資源開發及び生産經濟には道路も鐵道はまだ重大なる役割を果すまでにはその機能を發揮してゐない狀態である。

這般大本營海軍報道部長の平出大佐は濠は我に一擊を欲するやとの意圖の下に「濠洲擊滅の成算がある、またもし和して提携せんとすればわれ等は善隣としてこれを迎へる事であらうことをもう一事つけ加へて置きたいと思ふ」と聲明してゐるが、全く濠洲は今にして覺醒せざれば彼れの運命も亦風前の燈火たるを免がれない。である。記して讀者諸賢の參考の一端とでもなれば幸甚である。

（六月十日記）